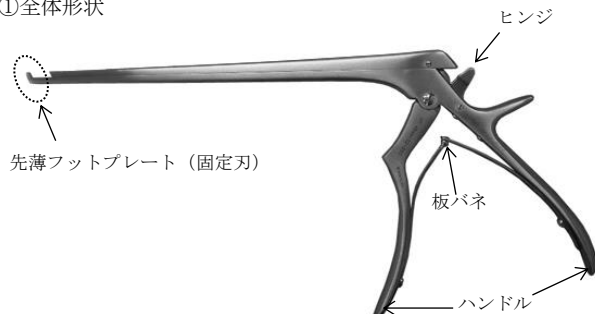


【形状・構造及び原理等】

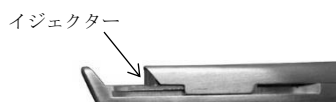
1. 形状

* ① 全体形状



② 先端形状

a. イジェクター有



b. イジェクター無



2. 原材料

ステンレス鋼

3. 寸法等

外装に記載

【使用目的又は効果】

- * 本品は、軟骨等の組織を切除する目的で使用する。

【使用方法等】

1. 使用前に洗浄及び滅菌を行う。

- * 2. 使用前に、可動部がスムーズに動くことを確認すること。

3. ハンドルを把持・操作し、先端にて軟骨等を締め付け、先端部の刃で切除する。

** 【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- ① 本品は未滅菌のため、使用前に必ず洗浄及び滅菌を行うこと。
（【保守・点検に係る事項】の項を参照）

- * ② 先端の先薄フットプレート（固定刃）が薄いため、硬い骨や厚い骨に使用した場合、破損又は変形する恐れがある。

- * ③ 軟骨等の下にあってがった本品の先薄フットプレート（固定刃）が透けて見える程度まで、あらかじめ目的部位をドリルで削ってから本品を使用すること。また、一度に噛む量を多くしすぎないこと。[破損、変形防止のため]

- * ④ 軟骨等を切除する際、器具を捻る等による応力を加えないこと。
[破損、変形防止のため]

- ⑤ 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。

- ⑥ 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。

2. 不具合・有害事象

① 重大な不具合

- ・ 本品の破損又は変形
- ・ 本品の機能不良

② 重大な有害事象

- ・ 血管、神経、組織、骨、内臓又は関節の損傷及び穿孔、出血、疼痛、硬膜損傷（髄液漏）、骨折又は神経障害等
- ・ 感染
- ・ 破損片の体内遺残
- ・ アレルギー反応
- ・ 本品の不具合によって起こる手術時間の延長、手技の変更及び再手術

③ その他の有害事象

- ・ 患者及び手術従事者の負傷

【保管方法及び有効期間等】

1. 重量物の下にならない様、保管ケース等を用いて保管すること。

- * 2. 使用後は速やかに洗浄及び滅菌を行い、清潔で乾燥した湿気のない場所に適切に保管すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用前・使用後の点検

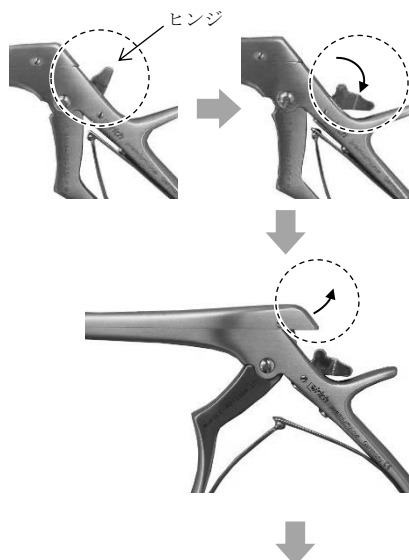
外観、機構等、異常がないことを確認する。

- * 2. 故障時のお願い

異常のあるもの、及びその疑いのあるものは使用を中止し、本文書に記載の問い合わせ先に連絡するか、新しいものと取り替えること。

- * 3. 洗浄方法

- (1) 下に示す手順に従って先薄フットプレート（固定刃）とスライド刃を分離し、洗浄する。



a. ハンドルを握り、先端を閉じる。

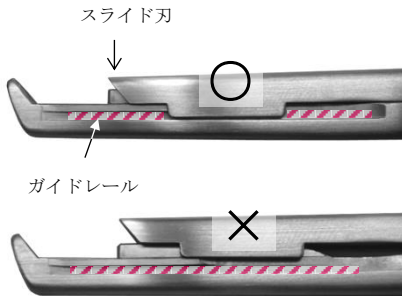
b. 手順 a. の状態でヒンジを倒す。

c. ハンドルを開放し、スライド刃の後端を斜め後方へ持ち上げた後、先端を分離する。(完全には分離しない)

d. 組立は逆の手順で行う。



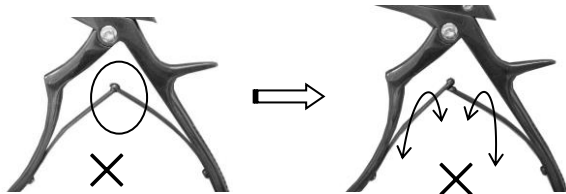
e. 組立後はハンド
ルを数回動か
し、正
常に機能する
か否かを必ず確
認すること。



注 1)
組立の際、スライ
ド
刃が所定の位置(左
図○の位置)にある
ことを必ず確認す
ること。
[誤使用、及び破損
防止のため]

注 2) 使用中はヒ
ンジに触れないこ
と。[分離、及び破
損防止のため]

(2) 洗浄等の際、板バネの交差部を外さない、また、捻らないこと。
[板バネ折損防止のため]



* (3) <事前洗浄>

- ① 本品を冷たい水道水に最低 5 分間浸漬すること。
- ② 本品をアルカリ（酵素）洗剤（0.5%）を含む超音波洗浄器に
浸し、40℃で 15 分間超音波洗浄にて処理すること。
- ③ 本品を超音波洗浄器から取り出し、冷たい水道水で再度洗浄
すること。

* (4) <機械洗浄>

- ① 本品をトレイの上に置き、トレイを洗浄消毒器の中の器具ラ
ックの上に置き、機械洗浄を開始すること。
- ② 製造元による推奨条件として、FDA クリアランス又は EN
ISO15883 に準拠する装置を使用のうえ、以下のサイクルによる
洗浄を推奨している。
 - a. 予備洗浄：冷水により 3 分間
 - b. 洗浄：アルカリ（酵素）洗剤（0.5%）で 55℃により 5 分間、
酵素洗剤のみを使用している場合は 45℃により 5 分間
 - c. 中和：40℃以上のぬるま湯と中和剤により 3 分間
 - d.すすぎ：40℃以上のぬるま湯により 2 分間
 - e. 消毒：94℃により最低 5 分間
- ③すすぎの際は、脱イオン水又は脱塩素水等を使用すること。
- (5) 金属たわし及び磨き粉（クレンザー等）の類は使用しないこと。
- (6) 洗浄により確実に付着物を取り除くこと。
- (7) 接合部及び可動部を有しており、動きをスムーズに保つために、
洗浄、乾燥後に医療用潤滑剤を塗布すること。[完全に脱脂され
た状態で使用し続けると摩耗による動作不良の原因となる。]

* 4. 滅菌方法

- (1) 汚れ又は洗浄剤が残った状態で滅菌を行わないこと。
- (2) 本品は未滅菌のため、使用前に必ず洗浄し、各医療機関により
確認された条件にて滅菌を行うこと。
※本品は度重なる洗浄・滅菌及び使用による金属疲労により、
破損する場合がある。

<製造元による推奨滅菌条件>

滅菌方法	滅菌条件
高圧蒸気滅菌	温度：132 ～ 137℃ 時間：3 ～ 5 分間 乾燥時間：10 分以上

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

欧和通商株式会社：TEL 03 (5803) 7172

<製造業者>

日本語名：ガイスター社（ドイツ）

英 名：Geister Medizintechnik GmbH (Germany)

<問い合わせ先>

欧和通商株式会社 札幌営業所：TEL 011 (708) 7725

東京営業所：TEL 03 (3813) 8201

大阪営業所：TEL 06 (6304) 9305

福岡営業所：TEL 092 (526) 3618

住所等につきましては下記ホームページにてご確認ください。

ホームページアドレス <http://www.ohwa-tsusho.com>